



8月29日全国自治体議員団会議、福島瑞穂党首と 浜松市にて

市政報告

9月議会は6日から24日まで開催されました。

議論になったのは、①医療再生協議会の設置条例②過疎地域自立促進計画の策定③市職員の勤務時間の一部改正④保育所条例の一部改正⑤一般会計補正予算⑥2009年度決算認定等でした。

JAF府中総合病院を 北市民病院と統合

赤字が続いて存続が危ぶまれていたJAF府中総合病院が単独での存続を断念、府中市が進める共同体構想に乗っかる形で今後協議を進めることになりました。北市民病院に対する赤字補てんが難しいと言ってきた

にその何倍もの赤字を抱えるJAF府中総合病院を市立の病院にするという共同体化構想には首をひねらざるを得ません。赤字の処理や建替えの費用をどうするのか何も決まっていない段階で市立病院化だけを進めるのではなく、何を残し何を継続するのか、そのための財政をどうするのかの議論が先になければなりません。

09年度決算、今年も赤字

議会冒頭あいさつで伊藤市長は09年度決算は、歳入200億4231万円、歳出193億6526万円、繰越金2億1799万円、4億5906万円の黒字だ

発行者
小川 敏 男
水田 豊

府中市出口町1076-4
TEL 41-7894

と言いましたが、その歳入のうち、財政調整基金9億円など計10億円は貯金の取り崩しです。単年度決算では、7億4804万円の赤字決算となり、奇しくも桜が丘団地の販売促進のための税金投入額7億6千万円分、赤字決算となっているのです。なお単年度赤字決算は今回で5年連続となっており、伊藤市政の財政運営は硬直化の一途をたどっています。

来年4月から市役所の 閉庁時間は5時15分に

2年前の人事院勧告である労働時間の15分短縮議案は当初の来年1月実施案に修正が加えられ、来年4月からの実施となりました。

お願い

大変申し訳ありませんが、お名前ご住所が間違っていましたら連絡してください。

小川 43・4616
水田 62・4575

過疎地域の病院である府中北市民病院の縮小反対！

住民不在で進む北市民病院とJA総合病院の統合と独立行政法人化

住民の願いは産婦人科の再開 JA府中総合病院の市立病院化でない

都合の悪いことは知らせず物事を進める 伊藤吉和 府中市長

られます。

協議会で民主的議論を

9月議会で、府中市地域医療再生協議会の設置が決まりました。協議会の委員は15人で、府中地域の医療機能の再生に関すること、北市民病院の経営形態の見直しに關し仕事を行なうことになっていきます。

この協議会の問題点は、市の方針の単なる追認機関となる可能性が大きい点です。市の広報では、『住民部

会は、単なる説明の場ではありません。住民のみなきが中心となって、地域に必要な医療とはどんな医療なのか、また、何をしなければならぬのかなどについて、自ら地域医療のあり方を考える「勉強会」にしたいと考えています』と書かれていました。9月議会で市長は、「協議会は、実行できる計画を作り上げるため

の場であつて要望を聞く場ではない。」と答弁しています。2点目は、協議会の委員に両病院の院長など当事者の医師の代表が入らない点です。当事者が入らずして今後の病院運営がうまくいくはずがないことは素人が考えてもわかることです。専門家である当事者を外すところに市の方針を貫

徹しようとする意図が感じられます。ともあれ、協議会の設置は決定されました。今後は、協議会を単なる追認機関にしないための努力が必要です。また、住民部会や医療関係者の部会で、民主的な議論ができるよう行政に要望し、意見が反映できるようにみなさんと連携を取って行きます。



寺岡記念病院が

主役の医療再編

北市民病院の財政赤字問題は、昨年9月の健康地域づくり審議会(寺岡暉会長)の答申を期に、府中市全体の医療問題に「格上げ」され、寺

岡記念病院が市の医療提供体制の中核病院だと位置づけられました。市長は「現在でもJA府中総合病院では旧府中市内の救急の受入れ件数の4分の1にしかな過ぎず残りは寺岡記念病院が引

き受けている。救急を中心とした2次医療は、寺岡記念病院の協力なくしてできない。医療提供体制の構築は寺岡記念病院なくしてありえない」と今議会で明言しました。寺岡記念病院が今も府中

の救急医療を担っているならわざわざ北市民病院とJA府中総合病院を統合し共同体を作ったうえで参画してもらおう必要などありません。寺岡暉理事長は健康地域づくり審議会の会長です。そ

の会長が自分の病院を再編計画の中核に据える答申を出し、それを行政が後押しするのは市の中立性・公平性を揺るがす問題です。伊藤市長はきちんと市民に説明する必要があります。

北市民病院を独立行政法人とし、JA府中総合病院を統合するため府中市地域医療再生協議会の設置が決まった。協議会は、統合する2病院に寺岡記念病院を加え、医療人材センターを新設し、3病院の医療機能を分担する計画を平成23年3月までに作り24年スタートをするという。上下・府中両地域の住民の間には地域の医療が崩壊すると不安と波紋が広がっている。

総務省のガイドラインは医師不足問題より財務状況に視点を置いた「経営効率化」にあり、地域における医療、福祉、健康づくりのあり方はどうであるかを考えず、単純に経営形態の見直しが全てであるかの論調になっている。地域医療が崩壊の現状下では、まず医療従事者が働きやすい環境を作ることが一番である。病院経営は、地域の安全を守ると

が指定管理となり人件費比率が30%削減された。その内容は外科医2人が0人に、常勤医師は内科医5名だけになった。農村で一番需要の多い整形外科、外科医は常勤医師がいなくなり広大、

視点

医療再生協議会

という危機管理の問題として捉えるべきである。

伊藤市長は、経営形態見直しの数ある選択肢の中で

県病院からの週2回の派遣となった。また麻酔科の医師もいないため手術ができ

この医療再生協議会の背景には、07年総務省

出た「公立病院改革ガイドライン」がある。

近隣の神石高原町立病院

となった。10年度からは研

修・人事交流の名目で正看護師2名が寺岡記念病院の准看護師2名と入れ替わった。指定管理者制度は町長が責任者だが、理事長が権限を握っているため、現場の院長の思い通りにできず、町長もまた委託している手前理事長に遠慮しているという一種の三すくみ状態になっているといわれている。

決算では経営努力により赤字は縮減している。北市民病院の財務状況から経営形態見直しが必要とはとても思えない。逆に府中市はハコモノ政策のツケで財政危機となり特別交付税の措置分さえも病院会計に繰り出せないのが実情である。

JA総合病院の財務状況も説明不足だ。両病院統合後の医療計画、病院建替え構想や財源調達、これに伴う市の財政計画など何も明らかにされていない。来年3月まで協議会で審議・決定されようとしている。市民の命と健康を守る政策決定に余りにも拙速すぎる。

町内の命綱消防団

団員の職務報酬

9月議会で消防団員の職務報酬について2年続けて質問しました。その理由は昨年団員の60歳までの定年延長が提案され、他市の状況を調べてみると職務報酬が他市より低いことがわかったからです。そして直接には関係ありませんが団員の確保がむずかしい中で、一助となればと考えた

ためです。消防団は火災だけでなく、山崩れなどの災害、高齢者の行く方知れずでも出張っておられ活動は広範囲です。その都度職場を休まれての活動です。

昨年の質問は「職務報酬の改善が必要でないか、他市と比較してどうか」。答弁は「消防団の方から引き上げの要望はない」というものだった。

しかし、消防団員の方から要望はされることはないのとは明らかです。今年の答弁は「2005年4月に増額した以降改正は行なっていない。他市の状況を調査し、検討したい」と変わった。

消防団員から要求されないことだけに市の方から他市を参考にして定期的に引上げていくべきと思います。

くいめたい 幼児虐待

大阪で起きた養育拒否の幼児虐待、そして地元福山で起きた身体的虐待による死亡事故は大変痛ましい事件です。府中市ではどういう状況なのか、担当課はどこなのか9月議会で聞くと、つぎのような取り組みをされている。

「府中市でも例外ではなく年々増え続けています。新聞報道された2009年度の府中市の17件は、身体的虐待が7件、ネグレクト（風呂に入れられないなど養育拒否）6件、心理的虐待（おまえなど生まれてこなければ良かったと言ったり、父親が母親をいじめたりするところをみて子どもの心を傷つけること）3件、性的虐待が1件です。府中市には「心のネットワーク」ができており、児童虐待は「子育て支援ネットワーク」という保育所、幼稚園、小・中学校、教育委員会、民生委員、福祉事務所、子ども家庭センターのネットワークにより対応しています。「子育て支援ネットワーク」の窓口は児童課で、通報や相談の対応しています。その他にDVが総務課、障がい者・高齢者虐待が福祉事務所、メンタルが保健課、不登校・いじめは「スクールネット」があり、教育委員会が窓口です。」 幼児虐待の発見は保育所や学校が多く、ベテランの職員の配置が必要です。

借金が多く自由になる金がない

2009 (H21) 年度決算

昨年の決算で伊藤市長は「府中市の財政というのは、経常収支比率が98・7というように、自由にできるお金が200億円規模の予算を組んでおきながら10数億円しかない。このうち毎年1億円とか病院につきこめない」と言っていた。つまり食べていくのに精一杯で新たな投資や貯金はできないということだ。経常収支比率は0.4ポイント悪化し99・1%になった。昨年の全国平均は91・8%です。

後が恐い合併特例債

お金がなくても建設ができるのは合併特例債という有利な借金ができたためです。合併特例債は借金の66・5%を国がみてくれます。しかし問題は特例債というように債務、借金であること、市の持ち出しが33・5%、3割も必要なことです。事業額が大きければ大きいほど市の持ち出しも大きな金額になります。債務の危険度を示す公債費負担比率も橋高市政では14・4でしたがレッドカードの20%に近い18・6です。

ケタ違いの金額

新たな投資ができる財政にするため財政健全化計画がつけられ職員削減、保育所、小中学校の統廃合、敬老祝金など福祉が削られ、さらにごみ袋の有料化まで行なわれた。ところがいくらしまつしても、小中一貫校建設55億円や桜が丘団地へ7億

命と健康に投資

自由になるお金が少なく、借金が多いのが府中市の決算の特徴です。やはりハコ物建設より市民の命と健康に投資する方が財政の健全性は保たれます。